

毎日新聞社 & 毎日小学生新聞

まな 学びの フェス

2024 春

春休みに

「学びの場」

出現

 とうきょう せたがや
 しょうわ じょうし だいがく
 昭和女子大学

21企業・団体が出前授業

出前授業を集めた小学生向けのイベント「学びのフェス2024春」（毎日新聞社、毎日小学生新聞主催、昭和女子大学など協力）が3月27日、東京都世田谷区の昭和女子大学で開かれました。今回で16回目です。21企業・団体が参加し、春休み中の親子約900人が、存分に「学びの場」を楽しみました。

【坂井友子、斎藤広子】

毎日小学生新聞 ふたつの教室「見出し川柳」と「てつがく対話」



毎日小学生新聞は今回の学びのフェスで、「見出し川柳を作ろう」＝写真⑤＝と「体験！てつがく対話」＝写真⑥＝の二つの教室を開きました。

「見出し川柳」の教室では、毎小の木村葉子・前編集長が先生役を務め、新聞を使って楽しく遊ぶ方法を教えました。子どもたちは毎日新聞や毎小の中から、記事の見出しや連載のタイトルの切り取って集め、「五七五」の川柳作りに挑戦しました。「旅立ちには 障害あって サバイバル」「頑張ろう 海を探究 論語くん」などの楽しい川柳が生まれ、それぞれが自信作を発表していました。

エコ・ファースト推進協議会



SDGsについて 学ぼう！

環境保全活動を積極的に行っている3企業の合同出展です。里山の枝と落ち葉を使ったお絵かき・燃料電池の発電実験・洋上風力発電所の模型作りを通して、SDGsについて考えました。

カシオ計算機



電卓のひみつ！

小型・軽量・薄型・省電力の技術で作られているカシオ計算機の電卓を分解し、組み立て直しました。動く仕組みやエコな発想で作られていることなどを手で触りながら学びました。

クラシエ



知育菓子教室

水を入れて練ると、色が変わって膨らむ「知育菓子ねるねるね」を使って実験をしました。紫キャベツに含まれる色素が化学反応によって変化することなどを学びました。

みらい人材ゼミナール



未来の乗り物を 考えよう！

自ら知りたいという「能動的な学び」を促す授業の特別編。探究学習を先取りし、子どもたちそれぞれが「未来の乗り物」を考えて発表し、学び合いました。

航空連合



飛ばそう、 わたしたちの飛行機

空港で日々飛行機を安全に送り出している、グランドハンドリング、航空貨物、グランドスタッフの仕事、体を動かしながら体験しました。航空会社の制服を着て記念撮影もしました。

国土緑化推進機構



森林を守る 森林を活かす

森林を守り活用することの大切さを、木とのふれあいを通じて体験しました。小学1～3年生はバターナイフの磨き上げ、小学4年生以上は木の小皿作りに挑戦しました。

CTC未来財団



カラーコードで プログラミング？

手のひらサイズのトラックロボットと特製の地図を使って、荷物を配達するルートを考えるプログラミングワークショップ。小学1、2年生が保護者と一緒に楽しみました。

スリーボン



親子で学ぶ、 化学のチカラ！

特別な接着剤を使って、自分でデザインするチャーム作りに親子で挑戦し、「くつつく技術」を体験しました。また、「くつつかない技術」で加工した、水をはじくタオルを使う実験も行いました。

そらべあ基金



ソーラーちゃん ランプづくり

地球温暖化の原因と影響をアニメやクイズを通して考えました。自然エネルギーについて学び、太陽光発電でもとるLEDライトを利用した「ソーラーちゃんランプ」づくりに挑戦しました。

日本歯科大学



ハノシゴトを やってみよう！

口の中を守っている「ハノシゴト」。歯科医・歯科衛生士になりきって実際に歯科医院にある道具を使い、ミニチュアの歯の模型にむし歯の治療と予防をしました。

日本労働組合総連合会



遊んで学ぶ お仕事のこと

「こんな学校はいやだ！」と思う数々のルールを回避しながら、すごろくのゴールを自指しました。ハプニング連続のすごろくで楽しく遊びながら、仕事のルールが「なぜ必要なのか」などを学びました。

日本郵船



こども船長 全速前進！

船長になって、シミュレーターで船の操縦を体験。「こども船長」たちは初めての操船を楽しみました。また、工具を使ってエンジンを分解し、機械いじりも行いました。